

「コロナうつ」急増中！ ネガティブ気分を脱すには

構成○福原ゆり

テ

レビやネットで悲惨なニュースを見るたび心が不安になってしまいませんか。心療内科医の海原純子さんが、情報との正しいつき合い方と、心の健康の保ち方を教えます

「コロナうつ」が 増えている

連日報道される新型コロナ関連のニュース、芸能人の急な死、大規模灾害、悲惨な事件……。これらは暗いニュースが心にもたらす影響として懸念されるのが、「ネガティブな同一化」です。これは、負の先読みをしてしまう思考回路だとえば、コロナ関連のニュースで「会食が感染の原因になりやすい」と報じられているのを見て、

備える」ということです。コロナ禍や災害、将来のお金や仕事の不安に関しては、「自分は十分に予防策を講じているから大丈夫」と考える。ところが今はどちらも、それが逆になっているようです。

たとえば、コロナ禍における会食はそれ自体が危険なのではなく、飛沫が飛び、その飛沫に触れた手で顔を触るといったことが危険なのです。人と飲食をともにする場合は黙つて食べ、しゃべるときはマスクをすれば、感染は予防できます。正しい知識を持たず、予防策を講じていないため、いたずらに不安を抱えてしまうのです。

「最善の未来を予測して最悪の事態に備える」ためには、正しい情報を得る必要があります。コロナ関連ならば、不確かな情報が多いSNSは避け、日本感染症学会や日本産業衛生学会などのホームページなどで情報を得る。災害なども同様です。デマ情報に惑わされないよう、信頼できる発信源がどう見極めることが大事です。

ません。終日家にこも

心の不調のサイン

体調

- ・過食、偏食の傾向がみられる
- ・お酒ばかり飲んでいる

生活リズム

- ・朝起きられない
- ・変な時間に起きてしまう、日中に寝てしまうなど、睡眠のリズムが狂っている

表情など

- ・顔がこわばっている
- ・化粧をしなくなったり、身だしなみが乱されている

て長時間ワイルドショーやネットを見るのは、むしろ効果。ワイルドショーは視聴率が上がる情報に焦点を当てているため、なかには正確ではないものもありますし、センセーショナルな伝え方をする傾向もあるので、見ると心が動搖しがちです。悲惨な事件に関する詳細な報道など、見たくないニュース

「コロナうつ」ともいうべき人が増えているのです。明らかに自覚症状があれば、病院に行つて専門家に相談するなどする原因になります。実際、今「コロナうつ」ともいうべき人が増えているのです。

「先週、友達と食事をしたから私も感染しているかも」と自分自身に当ではめて、最悪の未来を想像してしまう。あるいは、芸能人の自死のニュースに接したとき、「なぜあの人は自殺を選んでしまったのだろう」と考えるうち、「私も自殺する以外にこのつらさから逃れる方法はないのかかもしれない」と思

うようになってしまいます。特に今は、コロナの影響で雇い止めにあう人や、収入が減った人も少なくありません。精神的に追い詰められている人は、このように「ネガティブな同一化」を起しやすいのです。そしてこれは、うつを発症する原因にもなります。実際、今「コロナうつ」ともいうべき人が増えているのです。

ベルが1週間くらい続いたら、危険な状態。医療機関に行くことをお勧めします。

このほか次ページで紹介しているように、体調、生活リズム、表情などから心の不調のサインを察する方法があります。もし0~2のレベルが1週間くらい続いたら、危険な状態。医療機関に行くことをお勧めします。

このほか次ページで紹介しているように、体調、生活リズム、表情などから心の不調のサインを察する方法があります。自分自身の心の状況などから心の不調のサインを察する方法があります。自分自身の心の状況などから心の不調のサインを察する方法があります。

海原純子

医師

うみはら じゅんこ 沖縄県出身。東京慈恵会医科大学卒業。日本医科大学准教授、医学博士。近著に『気持ちがすうと軽くなる』(JTB出版)、『心の深呼吸』など

(写真提供: 海原さん)

情報とうまく つき合う

暗いニュースに心を蝕まれるから、「体調、大丈夫?」と声がけてしましょう。「気にかけてくれて嬉しい」と感じることで、心の調子が上向きになる効果があります。

心構えとして大事なのが、「最悪の未来を予測して最悪の事態に

スが入ってきて落ち込むこともあります。また、寝る前に長時間スマホやパソコンを見ると、ブルーライトを浴びることで睡眠の質も悪くなり、うつ傾向に陥りやすくなります。ワイドショーは見る時間は短くする、寝る前にはネットを見ないなど、情報と接する時間の基準を自分で決めるのがよいでしょう。

ません。終日家にこも

対応がとれます。自分の心の不調にはなかなか気づけないもの。いち早く異常を察知するためにも、日々から自分の気分を把握することが大切です。その方法は難しいものではありません。1から10まで目盛りがついている「気分のものさし」をイメージし、10は最高に「機嫌、らいらは平常、0は最悪とします。心が健常であれば、気分が落ち込んで0~2の日があるとしても、ほっとすることがある」として、ほっとすることがあるものです。もし0~2のレベルが1週間くらい続いたら、危険な状態。医療機関に行くことをお勧めします。

このほか次ページで紹介しているように、体調、生活リズム、表情などから心の不調のサインを察する方法があります。自分自身の心の状況などから心の不調のサインを察する方法があります。自分自身の心の状況などから心の不調のサインを察する方法があります。

